



中野区に対し
予算要望書
を提出

みなさんの声を区政に



この間、区内の様々な団体と懇談させていただき、区政に対する要望をお聞きしました。また、日頃からお寄せいただくご相談やご意見などを含めて要望書としてまとめ、区長・教育長に届けました。今後も皆さんの声を区政に生かしていくため力を尽くしていきます。



要望書の全文は
こちら



10月22日、区長および教育長に対して要望書を提出しました

差別を許さない

多文化共生の中野区へ

この定例会では、議員団として差別を許さない立場で質疑に立ちました。

本会議一般質問では羽鳥議員、決算総括質疑では、浦野議員といさ議員がそれぞれ以下のような質疑(概略)を行いました。



中野区人権及び
多様性を尊重する
まちづくり条例は
こちら



中野区
子どもの権利に
関する条例は
こちら

羽鳥議員:

- Q.** 区として排外主義は許さないという姿勢を表明し、施策展開を考えるべき
- A.** 区として差別する・されることのない環境、そうした状況を見過ごさない環境をつくる取り組みを進めている

浦野議員:

- Q.** 2024年度の外国籍の方の国保加入世帯数の割合と医療費の大半を占める療養給付費の割合は?
- A.** 国保加入世帯数は全体の18.4%、療養給付費の割合は3.7%。
⇒ 外国籍の方の医療費が高いという認識はない。
⇒ 外国籍であるか否かによって医療費を優遇しているということもない。
- Q.** 2024年度の外国籍の方の生活保護世帯の割合は?
- A.** 2.58% 2020年度と変わらない。割合はほぼ横ばい。生活保護の申請から調査、決定に際しては法令等に基づいておこなっており、外国籍の方を優遇することはない。

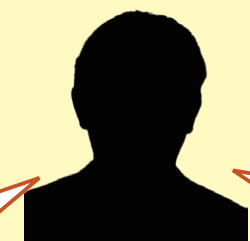
いさ議員:

- Q.** 中野区子どもの権利に関する条例にある「すべての子ども」には外国籍の子も含まれるか
また国籍や民族で行政サービスに差をつけることはあるのか
- A.** 外国籍の子も含まれる。出自で行政サービスに差をつけることはない
- Q.** 差別や排外主義という個別課題に焦点を当てた取り組みが必要ではないか
- A.** 人権施策推進審議会において、今後外国人の人権をテーマに審議を行うことを予定しており、審議会での意見も施策の参考にしていく
- Q.** 外国人差別はいけないという区からのメッセージが必要ではないか
- A.** 国籍や人種、民族等を理由とする不当な差別的扱いは断じて許されるものではないと考えている(区長)

SNSのデマ

外国人は生活保護を受けやすい

外国人優遇の事実はありません



デマの根拠に対して答弁する
福岡厚労相(7月15日)

SNSのデマ

高額療養費で外国人を優遇している

医療費に占める外国人の割合 **1.39%**
高額療養費の支給割合 **1.21%**

外国人の割合が高いことはありません

日本共産党が提案した意見書の賛否 (○=賛成、×=反対)

意見書	立憲・国無 (10人)※	自民 (8人)	公明 (7人)	都ファ (3人)	維新 (1人)	れいわ (1人)	無所属 (5人)	共産 (5人)	結果
消費税の減税および インボイス制度廃止を求める意見書	○	×	×	×	×	○	○(1人) ×(4人)	○	否決

※立憲・国民民主・生活者ネット・無所属1名で同じ会派を組んでいるため、上記の表記になっています。

「教職員の長時間労働改善を求める意見書」は全会一致で可決しました。

区立学校 教材費等の 無償化へ



党議員団は、これまでも教育の無償化や保護者負担の軽減を繰り返し求めてきました。

第3回定例会・子ども文教委員会において「区立学校の教育に関する費用負担補助について」が報告されました。義務教育期間における保護者支援を充実するとして、来年度から教材費等の無償化が実施される見込みです。

事業内容

- ① **対象者**：中野区立小中学校に在籍する全児童・生徒
- ② **対象とする費用**：原則として、保護者から徴収している費用すべてを無償化

教材費(ドリル・理科実験材料・家庭科実習教材・図画工作キット等)、修学旅行費、校外活動費、移動教室費



区議会第4回定例会のお知らせ(予定)

日程：11月25日(火)～12月10日(水)

請願・陳情〆切：11月13日(木)

- 本会議：11/25・26・27、12/10
- 常任委員会：12/1・2・3
- 特別委員会：12/4・5・8

中野サンプラザ地区

再開発の見直しは 区民の意見を反映して

・意見交換会には多数の参加が

区はこの地区のまちづくりについて、5月に説明会、7月・11月に意見交換会を行い、多くの区民が参加しています。またインターネットを通じて行っている意見募集にも多くの意見が集まっています。こうした取り組みは評価できます。同時に、意見を聞くだけの取り組みにならないよう、中野区は積極的な情報公開と計画の見直しに区民の意見が反映されるよう努めなければいけません。

・時代に合わせた見直しを

区民からは見直しにあたって「緑がある憩いの場所」や「ベンチを設置して歩きやすい空間」を求める意見が数多く寄せられています。再整備事業計画は2020年2月に策定されたもので、その後のコロナ禍やオフィス需要の変化、物価高騰の影響や激変する地球環境など、考慮すべき点は多くあります。

・「区民の意見を聞く機会を求める」陳情が採択

第3回定例会では、この地区の再開発について区民の意見を聞く機会を作ることなどを求める陳情が審議されました。党議員団は、「住民参加で見直しを」という立場から賛成。自民・公明・維新などは反対しましたが、賛成多数で採択されました。



サンプラザの様子

ご相談・ご要望
お寄せください



いさ哲郎
090-1121-8762



浦野さとみ
090-8049-4784



武田やよい
080-1166-3782



羽鳥だいすけ
090-4607-7889



広川まさのり
080-5482-2880